

光と緑の風通信

発行/2021年10月7日 編集/福島県立医科大学看護学部 〒960-1295 福島市光が丘1番地 Tel.024-547-1111 (代)

多職種連携・多職種連携教育 元年！

看護学部長 坂本 祐子



ご入学おめでとうございます。

さて、皆さんは「多職種連携」「多職種連携教育」という言葉を耳にしたことがあるでしょうか。多職種連携とは、「質の高いケアを提供するために、異なる専門的背景をもった専門職が、共有した目標に向けて共に働くこと(松岡)」を言い、超高齢社会突入が差し迫った頃から、その重要性が認識され始めました。多職種連携を推進するためには、自らの専門性を発揮するだけでなく、他職種の専門性を理解し協働することが重要になります。

これまで福島県立医科大学では、看護学部と医学部が合同で多職種連携やチーム医療を学ぶ科目を開講していなかったのですが、令和2年度より試験的に両学部4年生希望者を募りゼミ形式で合同講義を開始しています。この4月、理学療法学科・作業療法学科・診療放射線科学科・臨床検査学科の4学科からなる保健科学部が開設され、3学部6学科の医療系大学になったことを機会に、3学部合同科目「チーム医療論」を開講することになりました。「看護学」を学びながら、他医療職の専門性や協働するということを座学だけでなく、演習や討議を通して学ぶ機会があることは、本学で看護学を学ぶメリットの一つでもあるかと考えています。

Covid-19の終息が見通せない現在、講義・演習・実習の急な変更など制約がある学習環境となりますが、“共”に看護学を探求していきましょう。講義でお会いする日を楽しみにしています。

(さかもと ゆうこ)

登山と研究

看護学研究科長 高橋 香子



もうだいぶ前の学生時代、大学のサークル活動で山登りをしていました。身近なところでは、吾妻連峰、安達太良山、飯豊連峰、ちょっと遠くで北アルプス・穂高連峰、槍ヶ岳など。危険なこともしばしば。雷に遭い、生命線が短いのはこのせいかと思った岩手山、強風でテントが飛んだ飯豊。梅花木沢の大雪渓での落石。高所が苦手な私がよく登ったものだと思返ると思いますが、顧問の先生や友人、先輩・後輩たちとの活動の楽しさや、苦勞して登った山の頂に立った時の達成感、そこから見える景色のすばらしさが大きな魅力だったのだらうと思います。

登山と研究のプロセスは少し似ているところがあるかもしれません。いろいろ調べて目的地を決め、登山ルートや装備品の準備など山行計画を立案する。山行中はルートや天候などの気象条件を確認しつつ、目的に向かい計画に沿って歩みを進める。虫と汗との戦いの後に自然の雄大さと美しさという成果に出会い、下山後は山行を振り返り、次の山行への改善点を見出す。自分に身近な何かと置き換えて考えてみると、研究に対する親和性がより高まるように思います。研究科での学びは、調べること、発表し、議論すること、院生同士、あるいは教員との対話を通して醸成されます。コロナ禍ではありますが、研究科での活動を通して皆さんの学びや世界が広がることを大いに期待しています。

(たかはし こうこ)



※コメントは承諾を得た方のみ掲載しています。

新入生コメント

看護学部 新入生 コメント

赤井 以都 あおい 以都 学部生
感染症による活動が制限されているところもありますが、学校に来て授業を受けたり友達にも会えたり、楽しい生活を送ることができています。

厚海 莉緒 あつみ 莉緒 学部生
保健師になれるようにたくさん勉強しています。大学生活を充実したものにしていきたいと思っています。

阿部 綾花 あへ 綾花 学部生
大学は高校とは違う雰囲気で、から友達を作るのは大変だと思っていましたが、話の合う友達ができ、大学生活のスタートがスムーズにいくことができました。授業のスピードが速くついていけるのが大変です。

阿部 里美 あへ 里美 学部生
コロナ禍で入学し、感染対策をしながらの大学生活は思っていたとは異なりましたが、より医療者を目指すことへの責任を感じています。卒業後、看護士は何か、自分の答えを出せるよう日々学んでいきたいです。

阿部 田香 あへ 田香 学部生
マスクでまだ同級生の顔も覚えていませんが、この大学4年間でたくさんの人と関わり、大学生活からこその経験をたくさんしていきたいと思っています。

阿部 みゆ あへ みゆ 学部生
部活動やサークルはまだ始めておらず勉強ばかりの毎日ですが、コロナで不安の中、対面授業や実習が出来るようになる環境に感謝し、自分の目指す看護師になれるよう精一杯頑張りたいと思っています。

家富 るな いちはな るな 学部生
少しずつ大学生活に慣れ、毎日とても充実した日々を過ごしています。学への環境に感謝し、様々な価値観に触れ、看護師として人の人としても、大きくなれるよう頑張りたいと思っています。

高橋 凜華 たかはし りんか 学部生
新型コロナウイルスの影響が多少ありますが、比較的校内で学習することができ嬉しく思います。今後部活やサークル活動にも参加できるように頑張りたいです。今からとても楽しみです。

多田 風花 たた ふうか 学部生
すぐな4年間をすごしたいです。

橋 未来 はしほ 未来 学部生
勉強でサークルを両立して楽しい大学生活を送りたいと思います。色々なサークルに入って同学年や先輩との仲を深めたいです。

橋 梨音 はしほ 梨音 学部生
色々大変ですがなんとか楽しめています。

田中 愛咲 たなか まなみ 学部生
今こうして、自分の学びたいことをたくさん突き詰めていけるこの環境に身を置くことが私にとって大きな幸せです。支えきれない家族、周りの方に感謝しながら、後悔のない素敵な4年間を過ごしていきたいです。充実した大学生活にしたいと思っています。

田中 美優 たなか みゆ 学部生
入学してから3か月ほどが経ち、ようやく大学生としての実感が湧いてきたように思います。これから大学生活の中で自分の理想とする将来像を見つけていき、充実した大学生活にしたいと思っています。

田原 里名 たはらのりな 学部生
福島県立医科大学に入学でき、とても嬉しく思っています。理想の看護師像に近いように、知識や技術を学び、4年間充実した大学生活を送りたいです。

近岡 歩希 ちかおか あゆみ 学部生
看護師としての技術を身につけるためにたくさん勉強し、人間力も高めていけるよう、今しか出来ない新しいことにチャレンジしていきたいです。

津田 恭子 ついだ きょうこ 学部生
大学の4年間を通して看護について学び、福島に貢献できる看護師になりたいと思います。今年は通常授業や遠隔授業と不規則な日程になっていますが、一杯楽しんでいきたいと思っています。

土古 菜 つちこ なな 学部生
今はテスト勉強で忙しいですが、テスト期間が明けたら早く部活動に取り組みたいです。じつと始めるのかとわくわくしています。

五十嵐美樹 いがらし みき 学部生
大きな大病院で、専門的な勉強に励むことはとても貴重であり、休養時間外へ外出すると緑豊かな自然と青空が見られて、とても癒しになる良い大学です。しっかりと自分の将来のために学んでいきたいと思っています。

石川 なつみ いしかわ なつみ 学部生
憧れだった看護学生になれてとても嬉しいです。

石川 愛華 いしかわ まなか 学部生
幼い頃看護師として働く祖父や母の姿に憧れた。今看護学部に入學し私は助産師を目指している。責任ある職業であることを理解し、それに相応しい知識、技術はもちろん、人間として成長する時間を過ごしていきたい。

伊藤 沙耶花 いとう さやか 学部生
コロナ対策をした上での授業であるため、いろいろな人と話す機会は少ないですが、このような状況下でも対面授業が出来て嬉しく思います。

伊藤 唯乃 いとう 唯乃 学部生
リモートの期間もありましたが、新しい友達と学校でたくさん話せて楽しんでいます。勉強内容もより難しくなりましたが、それを乗り越えて頑張りたいです。また様々なことに挑戦していきたいです。

稲田 蓮 いなだ れん 学部生
4年間を通して自分の理想とする看護師像を構築し、少しでもそれに近づけることができよう、勉強に励んでいきたいです。そして、充実した4年間を過ごせるように頑張りたいです。

戸田 美悠 とだ みゆう 学部生
入学してから仲の良い友人もでき、心にも余裕が持ててきたので、来月からサークル活動も参加できよう、頑張りたいです。これから充実した生活ができるようになりたいです。

中里 香奈 なかざと かな 学部生
入学してからの4年間、きつと長いようで短い大学生活の中での自分なりの学びたいこと、頑張りたいこと、目標をしっかりと決めていきたいです。また様々な経験を通して、人間的に成長したいと思っています。

永沼 彩 ながぬま あや 学部生
福島県立医科大学に入学できたことを大変嬉しく思います。将来は、福島県の医療に貢献できる看護師を目指して、4年間勉強に励んでいきたいです。また様々な経験を通して、人間的に成長したいと思っています。

二瓶 文寧 にへい あやね 学部生
コロナ禍ですが、大学に通い、対面での授業を受けることができ、夢の第一歩を踏み出したように感じています。慣れない生活もありますが、憧れの大学生活を充実した4年間にしていきたいと思っています。

根本 怜音 ねもと れの 学部生
ずっと目標としていたこの大学に入学し、制限のある中でも楽しい大学生活を過ごせること、とても嬉しく思います。自分が学びたい看護学を学んで、想像以上に大変で、自分にとっての成長にしたいです。

羽賀 真望 はが まみ 学部生
入学してから3か月が経過し、授業や大学生活にも慣れました。信頼される医療従事者になれるよう、目標を持って頑張りたいと思っています。

橋本 夏実 はしもと なつみ 学部生
大学に入学して、9か月が経ちました。この期間を通して徐々に看護学としての自覚が芽生えてきました。自分の学びを通して、自らの目指す医療従事者になれるよう、これからも頑張りたいです。

馬場 裕華 ばば ゆうか 学部生
新型コロナウイルスの影響で授業の座席が指定だったり、開講が空いてたりなど、思っていた学校生活とは違いますが楽しく過ごしています。

蛭田 芽唯 ひるた めい 学部生
4年間の学びを通して、福島県民の健康を守る看護師になるために必要な知識や技術を身につけることにも、人間性を高めることができます。また、様々な人の関わりを大切にしていきたいです。

深谷 千夏 ふかや ちか 学部生
大学生活を楽しみたいです。

遠藤 実悠 えんとう みゆう 学部生
入学してから約3か月が経ち、大学生活に少しずつ慣れてきました。先生方のお陰で今年も遠隔授業よりも対面授業の割合が多く、友人達と共に学べる嬉しさを深く感じています。

大内 千尋 おうちき ちひろ 学部生
いろいろな人と関わりを持ち、充実した4年間にしたいです。また、たくさんのお話を学び、自習をし、様々な知識を持った看護師になりたいです。

大高 美咲 おおたか みさき 学部生
私は将来、小児看護師になりたいと思っています。そのために、4年間で多くの知識と技術を学んでいきたいです。患者さんの心に寄り添い、信頼される看護師になれるよう頑張りたいです。

大塚 愛美 おおつか まなみ 学部生
ずっと目標としてきた福島県立医科大学に入学することができました。これからたくさん知識を学び、技術を身につけて、多くの人に信頼される看護師を目指したいです。

小濃 朋果 おのう ともか 学部生
勉強！勉強！部活！部活！バイト！バイト！今しかできないことをいっぱいやる！！色々なことに挑戦する！！みんな協力し頑張るぞー！！

小野寺 笑緒 おののり えがお 学部生
私は災害看護学部で、DMATで活動するために、若手県からこの大学に入学しました。とても充実した日々を過ごせて幸せです。勉強と一人暮らしを両立させ、自律できるように頑張ります。

川本 優菜 かわもと ゆうな 学部生
大学生これからたくさん楽しみたいです。

菅野 蒼葉 かの あおは 学部生
自分は保健師にならなくて看護学部に進学しました。自分が特に興味を持ったものに熱心に取り組んで充実した4年間を過ごせるようにしたいです。

菅野 将登 かの まこと 学部生
私はこの大学での4年間の学びを通して、福島のために活躍できる看護師になりたいと思っています。瞬間を無駄にしないで、有意義な大学生活を送りたいです。

岸波 知佳子 きしなみ ちかこ 学部生
勉強も、人としての成長も、自分で努力して悔いのない大学生活を送れるようにしたいです。

古澤 美桜ふるさわ みお 学部生
入学してからあこいつの間にか9か月が経ちました。まだ大学生という実感が薄く、日々の授業で看護学生なんだと感じることが増えています。勉強は難しくても不安も多けれど仲間と助け合っています。

星 琉奈 ほし るな 学部生
コロナウイルスが流行る以前のような学生生活を送りたい。

松尾 美空 まつお みく 学部生
この大学に入学してまだ少ししか経っていません。勉強とこれから始める部活と友達と遊ぶことにとてもワクワクしています。医大生として更に成長していきたいです。

松村 莉子 まつむら 莉子 学部生
早く部活を始めたいと思います。

松本 菜月 まつもと なつき 学部生
コロナ禍での入学といことで大変なことではありますが、目標に向かって全力で頑張りたいです。

水野 綾花 みずの あやか 学部生
看護師になるための第一歩を踏み出すことができ、とても嬉しく思います。この4年間で自分の目指す看護師像を明確にできるように頑張ります。

宗像 花 むなかた はな 学部生
入学当初は大学生活に対して不安がありました。今は楽しさの方が大きいです。勉強、部活どちらも両立して有意義な大学生活を送りたいです。

村田 呼春 むらた こほる 学部生
合格できてよかったです。これから、患者さんのことを一番に考えることが、患者さんからたくさんのお話を学ぶことができるような看護師を目指して頑張りたいと思います。

梁瀬 左瑛 やなせ さえ 学部生
入学できて良かったです。これから部活動と勉強の両立をして充実した生活を送りたいです。

葛巻 茉莉香 くすまき まりか 学部生
入学から早く3か月が経ちました。今年は昨年に引き続きコロナ禍のためにリモート授業になることも多くありますが、この学校で4年間、様々な授業、実習を通して看護師に必要な資質を見出していきたいと思っています。

小林 真悠 こばやし まゆ 学部生
まだ完全には授業までの生活とは言えませんが、対面授業や演習の授業ができていて、これをありがたしく思います。勉強も含めて4年間が充実したものにしたいなと思っています。

金野 彩花 こんの あやか 学部生
約3か月半経ちましたが、大学生活一人暮らしともまだまだ慣れません。今後の目標として、整った環境を活かして看護を追究し、勉強だけでなく様々なことに挑戦して充実した日々を送りたいと思っています。

今野 藍夢 こんの らむ 学部生
まだ不慣れな点が多くあり、いろいろな模索しながらの大学生活ですが、4年間の学びと経験を、一人前の看護師となるまで努めたいです。

佐々木 優 ささき ゆう 学部生
大学生活を充実したものにしたい。

笹田 望月 ささだ みづき 学部生
ずっと目指していた福島県立医科大学に入学できたこととても嬉しく思います。またまだ不安なことは沢山ありますが、自分の理想とする看護師になれるよう4年間勉強に励みたいです。

佐藤 花純 さとう かすみ 学部生
大学に通うまでは話せる友達ができるかとても不安でした。しかし、今はまだ話せていない人もいますが、友達がたくさんできました。通学や勉強は大変ですが、楽しい大学生活を送ることができてうれしく思います。

佐藤 純花 さとう すみか 学部生
入学してから数か月が経ち、徐々に大学生活にも慣れてきました。新型コロナウイルスの流行による大変なことはありますが、日々の勉強を頑張りたいです。充実した4年間を送りたいです。

佐藤 未実 さとう みり 学部生
私は将来、精神科を専門とした看護師になりたいと考えています。心の病を治すには心と心を通わせることが一番大切だと思います。一人でも多くの人を救える看護師になれるよう、日々勉強に励みたいです。

佐藤 優衣 さとう ゆい 学部生
自然がいっぱいで、のびのびと生活できます！

山崎 ゆめ やまざき ゆめ 学部生
この大学に合格し、いよいよ看護師への道がひらけてきました。よりよい将来のため、実りのある4年間にできたいと思っています。

横沢 結 よこざわ ゆい 学部生
コロナ禍でサークルや学祭が例年通りできないので、先輩との繋がりが残念です。その分、勉強に専念できるように頑張りたいと思っています。

吉田 もも よした もも 学部生
通学時間が長く大変な面もありますが、楽しく学校生活を送っています。

我妻 涼香 わがつま すずか 学部生
大学生という新しい環境で慣れた新しいコロナウイルスよりも、日々の生活が続き、思い通りに活動することが出来な中で、前向きに自分ができる範囲で楽しんで、大学生活を送ることができると充実しています。

渡辺 樹 わたなへ いつき 学部生
私は春から目標としていた大学に入学することができました。男子が少ない中で授業を行う新鮮さや、たくさん入る医療の知識に日々刺激を受けながら立派な看護師になるために頑張ります。

渡邊 こころ わたなへ こころ 学部生
これらの4年間で、自分自身を成長させたいです。

渡邊 那菜 わたなへ なな 学部生
新しい友達ができ、楽しいことも沢山ありますが、その反面まだ慣れないことばかりで毎日夜はぐっすりです。これからはサークルなどの活動も始めようと思っています。今以上に楽しい生活を送れるといいなと思っています。

渡部 真子 わたなへ まこ 学部生
講義やサークル活動などの大学生活を通して自分が大切にしたい考えや信念を見つけていきたいです。貴重な4年間を仲間たちとともに充実したものにしたいと思っています。

渡邊 美沙紀 わたなへ みさき 学部生
医大に入学して数か月経ち、大学生活にだんだん慣れてきました。例年通りではありませんが今の状況に臨機応変に対応しながら、看護師になるためにしっかりと勉強したいと思っています。

穴戸 未来 あなと みく 学部生
部活動が中々始まらないのが残念ですが、学校に通うことができて嬉しく思います。

清水 日奈子しみず ひなこ 学部生
コロナがまだ収まらない状況でこのまま通学しながら授業を受けたり実習をしたりと出来の不安がありますが、それでも4年後や看護師になったからの未来を見極めて頑張りたいです。

清水 未咲しみず みさき 学部生
入学当初は友達にも会えず不安でいっぱいでしたが、対面授業が始まり充実した生活が送れるようになりました。自分の目指す看護師像に少しでも近づけるよう、日々の学習を大事にして努力していきたいと思っています。

霜山 瑞樹しもやま みずき 学部生
大学に入学し、長年の夢であった看護師に一歩近づいてきたと感じています。新型コロナウイルスの影響でZoomでの授業が行われていますが、先生方のお陰で楽しく授業を受けています。ありがたいです。

白石 華子しろいし はな 学部生
入学式が終わってから数か月が経ち、新しい大学生活に慣れてきました。多くの仲間に出会え、毎日充実しています。将来、社会に貢献できる看護師になるために、日々頑張りたいと思っています。

末永 遥香すえなが はるか 学部生
福島県大に入学して良かったと思えるように日々、コツコツと知識や技術の習得に励みたいと考えています。そして、理想の看護師に少しでも近づけるよう、一人前の看護師になるためにがんばりたいと思っています。

鈴木 夏音すずき なつね 学部生
看護学部、医学部は自然豊かな場所であり緑も豊かだと感じます。通学が大変な面もありますが、新しい友達仲間との出会いが、とても刺激になりました。コロナ禍の様々な制限がある中で対面授業も多く嬉しく思います。

鈴木 希海すずき のぞみ 学部生
入学してから様々な出会いや体験ができ、毎日充実しております。そして、この福島の地で看護の勉強が出来ることに、とても嬉しく思います。これから、自分自身の夢に向かって頑張りたいです。

相馬 虎太郎さうま こたろう 学部生
地域へのような課題が起きているのか、そしてその課題を解決するためには何をしたら良いのかを見つけて、将来、地域医療を発展させるための力を付けていきたいと思っています。

大学院看護学研究科 新入生コメント

磯上 茜いそがみ あかね 大学院生
春から精神科領域CNSコースで学び始めました。私はこの大学の14期生で、附属病院の心身医療科で働いてきました。その行動の意味はその人を変えるために自分には何が出来るのか、私の看護にはどんな意味があるのか、日々考えるようになった。意味が臨床へ還元できるような学びを学んでいきたいです。

金子 奈末かね なみ 大学院生
長野への参りました。すべてが新たな挑戦で、まだまだですが、このような学ぶ機会に感謝です。ひたひたのことを大切にしながら多くを吸収し、学びを深めていきたいと思っています。よろしくお願います。

佐藤 友美さとう ともみ 大学院生
大学院へ入学し、4か月が経ちました。久しぶりに書くレポート、慣れない論文や日々奮闘しながらも、病棟で働く看護師の自分と看護学を学ぶ学生の自分があることに喜びを感じながら日々を過ごしています。会津から通う長い時間も楽しみに変えて頑張りたいと思います。

鈴木 有美すずき ゆみ 大学院生
4月に入学し、「看護について」へ入り考える充実した日々を過ごしています。初心を忘れず、応援して下さる職場の皆様へ感謝し、仕事をしながら学んでいきたいと思っています。

橋本 尚美はしもと なおみ 大学院生
看護学研究科が看護学領域に4月から入学いたしました。橋本です。2年間という短い間ですが、たくさんの方のアドバイスを頂き、看護師として大きくなりたいと思っています。よろしくお願います。

松井 沙耶香まつい さやか 大学院生
附属病院の心身医療科病棟で4年半勤務し、現在はPICUに所属しながら精神看護学研究科コースで学んでいます。学への環境があること、職場の上司や同僚の理解や応援があること、家族の支えがあること、先生方の丁寧なご指導に感謝し、楽しみながら学んでいきたいと思っています。

柳内 香織里やない かおり 大学院生
私は、保健所の歯科衛生士として23年間勤務していますが、自分の企画に根拠を持つ説得力のある仕事をしたいと考え、こちらで学ばせて頂くことになりました。看護職ではありませんが、新たな学問を学ぶことはとても充実しています。どうぞよろしくお願います。

佐藤 美保さとう みほ 大学院生
大学院へ入学し、3か月が経ちました。授業でのディスカッションは、他の方の看護に対する考えを知り、自分の看護観と向き合う貴重な機会となっています。また、同時に自分が臨床で実践していた看護の意味付けにもつながっていると感じます。「看護とは何か」という本質的な部分を追究しながら、人としても成長していきたいです。

新任のごあいさつ

❖これからよろしくお祈りします

着任のご挨拶



生命科学部門
関亦 明子

4月に着任してから早3ヶ月が経とうとし

ております。天気の良い日はできるだけ医大まで歩いており、色とりどりの花々のうつろい、田んぼや木々の緑、野鳥の鳴き声を楽しみながら、春から現在の初夏まで、毎朝30分の道のりを通勤してきました。朝は鳥の声で目覚め、こんなに季節と自然を感じながら毎日を送るのは一体何年ぶりだろうと思っております。

福島医大とは、看護学部開設当時から少なからず縁がありながら、もう少しで25周年を迎えようとしている今になってようやく教員として着任することになりました。このご縁を大切に、自然の豊かさに元気を貰いながら、教育と研究を通してみなさんと生命の神秘についての感動を共有していきたいと夢を描いております。どうぞよろしくお祈りいたします。(せきまた あきこ)

新任挨拶



基礎看護学部門
黒田 るみ

この4月に基礎看護学部門に着任いたしました

した。私はこれまで、基礎看護学と看護学教育を専門領域として、実践領域や時代を超えて存在する看護職のものの見方や考え方の普遍性に関心を持ってきました。そのため、臨床でも、病棟、一次救急・三次救急の外來、訪問看護、看護部の教育専従と、様々な異動してきました。

今、授業中に、自身の臨床経験を学生に紹介しながら、(看護職にとって最も重要なことは、どんな状況にあつても、看護の対象者中心の思考を貫けることではないか)と、改めて考えております。この、簡単そうでも意外と難しい課題に、これから先も取り組みつつ、教員として学生や大学院生の皆様方の成長を見守つていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお祈りいたします。(くろだ るみ)

着任のご挨拶



母性看護・助産学部門
石井 佳世子

4月より「母性看護・助産学部門」に着任いたしました

石井佳世子と申します。以前に「小児看護の教員経験があります。母性看護に戻って参りました。コロナ禍で母性看護を満足に受けられない、ママ友が作りにくい、夫の立ち会い出産ができない、入院中にご家族の面会がない中、戸惑いながら一生懸命に産・育児をされるお母さん達にとって、私達のケアは非常に重要になると思っています。

学生さんと一緒に、助産師としての臨床経験、自らの出産経験を思い出しながら、お母さん達に一杯のエネルギーを送りながら実習ができることを楽しみにしています。また、助産師になりたいと思えるような実習を目指して努力していきます。どうぞ宜しくお祈り致します。(いしい かよこ)

新任教員あいさつ



成人・老年看護学部門
阿部 久美

令和3年4月から人事交流で異動してきました

した。2年間という短い期間の中で、自分自身のような学びをするか、目標を決めて有意義な時間を過ごしていきたいと思いました。

一つ目の目標は、自分の論文投稿をすることです。大学院で学ばせて頂いた時の論文がそのままになっており、紙面での発表をしていないので論文投稿という形で発表し看護へ貢献できるようにしていきたいです。

二つ目は、学生さんとの関わりを通して今後の自分に何ができるか考えることです。病院経験と教育経験があるためその経験を活かし、患者さんや学生さんへどのように還元できるかを学んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお祈りいたします。(あへくみ)

新任着任のご挨拶



成人・老年看護学部門
橋本 尚美

この度、成人・老年看護学領域の助手として着任いたしました。橋本尚美と申します。

東京都出身で、ご縁がありまして福島県へ約3年前に参りました。今まで、一般病院で看護師の経験しかありませんのでみなさまにご迷惑おかけすることも多いと思いますがよろしくお祈り申し上げます。(はしもと なおみ)



ご入学おめでとうございます

令和3年4月7日に令和3年度福島県立医科大学入学式が執り行われました。今年度は十分な感染対策を講じ、無事入学式を挙行することができました。今年度より、3つ目の学部となる保健科学部が加わるなか、看護学部では84名、看護学研究科8名の新生を迎えました。新生の皆さんは、新生活へ期待と不安を持ちながら新たな一歩を踏み出しました。将来の夢と目標達成に向け、充実した学生生活を過ごしてほしいと願っております。



令和3年度
入学式
令和3年4月7日

ふくしま看護モデル検討部会

卒業生応援プロジェクト 「ホームカミングデー」開催しました

ふくしま看護モデル検討部会 田村 達弥

令和3年6月19日(土)19時~20時に新卒1年目の本学卒業生を対象に「ホームカミングデー(Zoom版)」を実施いたしました。ホームカミングデーはCOVID-19の影響で実習や授業内容の変更を余儀なくされた卒業生に対し、看護学部として何か応援できることはないかと考え、ふくしま看護モデル検討部会が立ち上げたプロジェクト活動のひとつです。

当日は6名の卒業生と12名の教員との計18名にご参加いただきました。当日は6名の卒業生と12名の教員との計18名にご参加いただきました。飲み会や食事会など、所属部署等の自己紹介、卒業生同士のグループトーク、卒業生と教員を交えたグループトーク、全体トークへと進行してまいりました。アンケートでは卒業生より「同期とも先生とお話できてリフレッシュできました!」話しやすく、敷居が低く、質問しやすい環境だった。看護の道をもっと極めたいと思った時にすぐに相談できると感じた。「働く上での悩み事など誰に相談して良いのか迷うことがあったが、同期と先生となら共有できた。」といった感想が寄せられました。

ホームカミングデーを通して卒業生はコロナ禍における苦労や悩みを共有し労働機会、教員は卒業生の成長や頼もしさを実感する機会となったように思います。

今後も教員と卒業生、卒業生同士のネットワークが広がり、「助け合い、刺激し合い、お互いに研鑽し合う場」、母校との繋がりを維持することで「所属感や安心感」を期待しホームカミングデーを継続していきたいと思っております。(たむら たつや)

令和2年度 卒業生の国家試験の結果と進路

令和2年度 保健師・助産師・看護師国家試験の合格状況

令和2年3月26日現在

令和2年度の国家試験の合格状況は、保健師、助産師、看護師ともに、全国平均合格率を上回る結果となりました。



■ 保健師

	令和2年度	令和元年度	30年度	29年度	28年度
受験者(人)	84	80	79	87	86
合格者(人)	83	78	65	73	83
合格率(%)	98.8	97.5	82.3	83.9	96.5
全国合格率(%)	97.4	96.3	88.1	85.6	94.5

■ 看護師

	令和2年度	令和元年度	30年度	29年度	28年度
受験者(人)	84	80	79	87	86
合格者(人)	83	79	78	87	83
合格率(%)	98.8	98.8	98.7	100.0	96.5
全国合格率(%)	95.4	94.7	94.7	96.3	94.3

■ 助産師

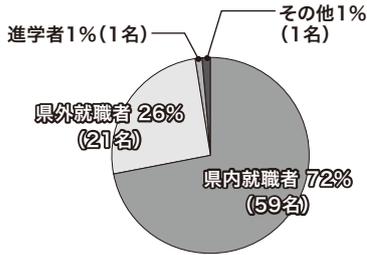
	令和2年度	令和元年度	30年度	29年度	28年度
受験者(人)	5	6	6	7	7
合格者(人)	5	6	6	7	6
合格率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	85.7
全国合格率(%)	99.7	99.5	99.9	99.4	93.2

令和2年度 看護学部卒業生の進路状況

令和2年3月現在

令和2年度の看護学部卒業生の主な就職先は、福島県内59名、福島県外21名で、就職した学生のうち72%が県内での就職を選択しました。また、福島県内に就職した学生のうち36名が本学附属病院に就職しました。

■ 卒業生のうちわけ



■ 就職(県外)

就職先	職種	都道府県	人数
みやぎ県南中核病院	看護師	宮城県	1
秋田大学医学部附属病院	看護師	秋田県	2
国立病院機構水戸医療センター	看護師	茨城県	1
国立病院機構宇都宮病院	看護師	栃木県	1
自治医科大学附属病院	看護師、助産師	栃木県	1
前橋赤十字病院	看護師	群馬県	1
順天堂大学医学部附属浦安病院	看護師	千葉県	1
千葉県警察	警察官	千葉県	1
日本赤十字社医療センター	看護師	東京都	1
国立国際医療研究センター病院	看護師	東京都	1
国立がん研究センター中央病院	看護師	東京都	1
東京武蔵野病院	看護師	東京都	1
国家公務員共済組合連合会虎の門病院	看護師	東京都	2
国立研究開発法人国立がん研究センター	看護師	東京都	1
済生会横浜市南部病院	看護師	神奈川県	1
新潟大学医歯学総合病院	看護師	新潟県	1
木戸病院	看護師	新潟県	1
日立市役所	保健師	茨城県	1
小山市役所	保健師	栃木県	1
県外就職			21

■ 就職(県内)

就職先	職種	市町村	人数
福島県立医科大学附属病院	看護師、助産師	福島市	36
福島赤十字病院	看護師、助産師	福島市	2
一陽会病院	看護師	福島市	1
寿泉堂総合病院	看護師	郡山市	2
星総合病院	助産師	郡山市	2
総合南東北病院	看護師	郡山市	1
いわき市医療センター	看護師	いわき市	3
南相馬市立総合病院	看護師	南相馬市	1
福島県	保健師	福島県	3
福島市役所	保健師	福島市	2
郡山市役所	保健師	郡山市	2
いわき市役所	保健師	いわき市	1
喜多方市役所	保健師	喜多方市	1
二本松市役所	保健師	二本松市	1
大玉村役場	保健師	大玉村	1
県内就職		計	59

■ 進学

進学先	人数
福島県立医科大学大学院	1
進学	計 1

編集後記

新入生の皆さんへ入学おめでとうございます。皆さんと入学式でお会いでき、しかも対面授業、実習で一緒にできたことは大変うれしく思います。新型コロナウイルスという難敵と戦いながら、受験という高い山を越えてこられたみなさんには敬意を表します。

35年ほど前、わたし自身も皆さんと同じく学生として医療の勉強を始めたころの話です。感染症はほぼ克服されたこととされ、自分の教科書の感染症を扱った部分が非常に少なかったのを記憶しております。医療は著しく進歩しておりますが、実は温故知新なのだと感じている今日この頃です。従来から皆さんの目指される医療職は、社会に不可欠なものであることは当然なのですが、コロナ禍をして間もなく人類がこれを克服した後も、皆さんの社会における位置は非常に重要なものとなります。皆さんはその誇りをしっかりと持って、社会のニーズに応えられるよう、日々学生生活を送ってください。期待しています。

太田 昌一郎

◆ 編集委員

太田 昌一郎
関 亦 明子
高 橋 香子
井 上 水絵
佐 藤 利憲
鹿 俣 律子
橋 本 尚美
亀 岡 康子